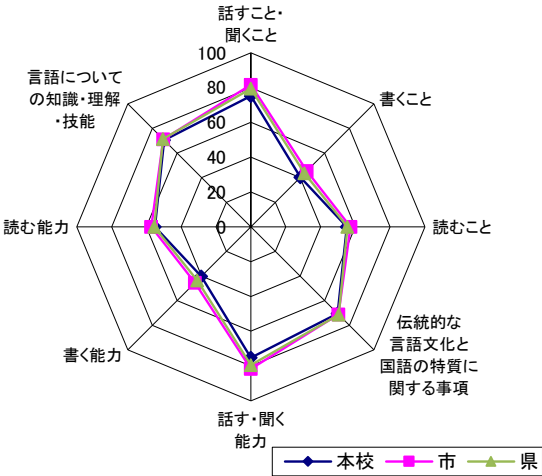


宇都宮市立桜小学校 第4学年【国語】分類・区分別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	話すこと・聞くこと	75.2	81.6	79.4
	書くこと	40.2	45.4	43.6
	読むこと	55.1	57.2	55.5
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	70.5	71.1	71.4
観点	話す・聞く能力	75.2	81.6	79.4
	書く能力	40.2	45.4	43.6
	読む能力	55.1	57.2	55.5
	言語についての知識・理解・技能	70.5	71.1	71.4



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
話すこと・聞くこと	○話し合いにおいて司会者の役割を理解し、進行する力は市の平均とほぼ同じ。 ●理由を挙げながら筋道を立てて話す力は、県や市の平均を下回っている。	・話し方や聞き方のポイントを意識する指導を続けながら、話し合いの機会を多く設ける。 ・話し合いの中で、自分の意見を理由を挙げながら話す機会を多く設ける。
書くこと	○文章構成を意識する力は、県や市の平均を上回っている。 ●記述問題では無答が多く、文章中に適切な内容を書き入れる力が低い。	・自分の考えを詳しく書く機会を増やし、書くことに慣れていくようにしたい。 ・メモや人の意見を基に、自分の意見を記述することにも慣れさせたい。
読むこと	○説明文の内容の理解は、県や市の平均を少し上回っている。 ●文学作品の内容の理解は、市の平均より低い。 ●叙述や会話文を基に、登場人物の性格を捉えて読むことは正答率が低い。	・朝の読書や「家読」を奨励することによって、読書の機会を増やし、読む力の向上を図りたい。また、本の種類の偏りがなくようチャレンジ読書でいろいろな読み物に触れるようにしたい。 ・教科書にでてくる文学作品に関連した本を紹介し、「読むこと」への意欲が高められるようにする。
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	○言語事項については、県や市の平均とほぼ同じ。 ○漢字の音読みの正答率は低いが、訓読みの正答率は100%である。 ○漢字の書きやローマ字表記の正答率が高い。	・漢字の反復練習を今後も続けて習熟を図る。また、漢字の音読み訓読みを意識した学習を進める。 ・調べ学習で積極的に国語辞典を使用して、正しい使い方方を繰り返し指導し身に付くようにする。